

## 2. 被災車両の救出

珍しい高架車庫である石屋川車庫も大きな被害を受け、出庫前でまだ眠っていた電車たちも多くが取り残されました。



上2枚：車庫南西側の様子。

高架は一般民家の3階程の高さがあるので、まるで3階が1階になったぐらいの押しつぶれようであり、そこに取り残された多くの電車が救出を待っています。

右の写真なんかは、ほとんど廃車置場のような光景です。



左下：点検庫のある北西側の様子。

普通車がポツンと淋しく顔を出しています。





上2枚：車庫全体の様子。  
高架が大きく波を打つように曲がり、床の一部が落ちています。  
車両を救出するために、端から高架部分を壊して少しずつ車両に近づいていきます。



左下：南側から車庫を見た様子。  
通行人のおじさんも足を止めて救出作業を見守っています。



左上：車庫から運び出される車両。

クレーンで吊り上げられ、トレーラーに載せられた車両が、次々と車庫から救出されてきました。



左下：尼崎へ向かう救出車両。

被災した車両は尼崎工場へ向かうのだが、収容能力が小さいため、ダメージの大きな車両とともに神埼川近くの工業団地にしばらく置かれることとなり、一部の車両はそこで解体された。

なお、工業団地内に留め置かれた車体から、部品などを剥ぎ取るうとした馬鹿野郎がいたそうで、3重の悲しみとなりました。